



海外メディア関係者に「日本の柔道とは?」と聞くと、「一本の柔道」、誰に聞いてもそういった答えが返ってくる。また日本の柔道家にインタビューをしてみても、やはり「一本で勝たなければそれは本当の勝利ではない」と答える。

しかし、日本選手はあまりに一本での勝利にこだわりすぎて、時に負けてしまうことがある。それでも一本を取ろうとするひたむきな日本人選手の姿勢に誰もが敬意を払い、胸を打たれる。

特に日本選手の柔道が海外選手の柔道と違う点は、柔道に対してのまっすぐな姿勢だと感じざるを得ない。とにかく日本人の柔道に対する姿勢は純粋でまっすぐである。例えば海外選手の乱取りのやり方と比べてもそれが見えてくる。フランスでの乱取りでは、寝技で相手を絞め落とすことがない。それは、絞め落とされるのが、打ちのめす、完敗することを意味し、選手のプライドを傷つけることになるかもしれないからだ。しかし、日本では妥協することなく絞め落している。つまり日本の柔道は、いつでも「真剣柔道」なのだ。実際、その高い意識、練習方法が大会の好成績に繋がっていると思う。

また、取材を通して、日本選手が背負っているプレッシャーも、海外の選手とは違うように感じられた。例えば、海外では個人で戦っているのに対して、日本選手は、師弟関係、大学や所属団体の名誉、柔道国としての名誉を背負い、自分の勝敗次第で周囲の見方が変わってしまう事を十分心得て畳の上にあがっているのだ。このよう

に命をかけているかのような真摯な姿勢に驚かされた。

柔道は日本で生まれたのだから当たり前かもしれないが、日本を越える国は他にないだろう。歴史的にも、テクニック面からいっても右に出る国は他にない。特に日本の柔道家の姿勢は、柔道の理想そのもののように感じる。まさに柔道が生きている国なのだ。

しかしながら残念に思う部分もある。まず、言葉の壁だ。日本語を話せないメディアにとっては日本選手とのコミュニケーションはとても難しい。通訳が入ってしまうと場合によっては、本当に話が通じているのであろうか、と心配になることもある。もっと日本の柔道家と直接コミュニケーションが取れたらどんないい取材ができるだろうかと思う。

さらにもう一つ、日本でのメディアにおける柔道の取り上げられ方である。何人かのメディア関係者が困惑していたのだが、街を歩く人たちにインタビューしたところ、東京世界柔道選手権が開催されていることを知らなかったのである。柔道が生まれた国なのに、なぜ一般人は無関心なのだろう。なぜもっと日本の柔道を誇りに思い、もっと応援しないのだろうかと海外メディアの関係者たちは首をかしげていた。

日本の柔道には、やはりこのままずっと、世界中の柔道家のあこがれの柔道であってほしい。そして日本人全体にも柔道の心を忘れないでいてほしいと願うばかりである。

# ぼくたち、わたしたちの街に選手がやってくる! 柔道フェスタ2010開催

今年で13回目となった柔道フェスタ。10月24日(日)に、北は秋田、南は佐賀まで全国5カ所で開催されました。9月に東京で行われた世界選手権大会で日本勢が大活躍したばかりということもあって、どの地域でもたくさんの子どもたちが集まり、元気な声が響く1日となりました。

## 東北・北海道ブロック

会場:秋田県立武道館 参加者数/300名

ゲスト選手 男子:小野卓志、平岡拓晃

女子:上野順恵、田中美衣、松本薫

「世界選手権直後ということで、大活躍をした選手たちに会えるということで、選手の一挙手一投足に憧れと尊敬のまなざしを注いでいたのが印象的。世界を代表する選手の技を目の前で見られたことや、選手と直に触れあったことは、一生忘れない思い出として子どもたちの記憶にとどまることでしょう。今回参加した子どもたちの中から、さらには東北・北海道の地から日本を代表する選手が誕生してくれば大変うれしく思います。」

## 北信越・関東ブロック

会場:甲斐市立竜王武道館 参加者数/450名

ゲスト選手 男子:鈴木桂治、秋本啓之、森下純平  
女子:渡邊美奈、中村美里

テレビや写真で見ると迫力がありました。(小3) 選手の技の入り方が独特で学べる点が沢山ありました。(高1)

子どもたちと触れ合え、楽しい時間を過ごしました。(中村美里)

とても楽しい一日でした。子どもたちが生き生きと柔道をする姿をみて、私自身も刺激を受けました。(秋本啓之)

## 近畿・東海ブロック

会場:福知山市武道館 参加者数/380名

ゲスト選手 男子:穴井隆将、高松正裕、福岡政章  
女子:塚田真希、西田優香

「子どもたちをはじめ、保護者、引率者、強化選手、役員等も楽しい時間を過ごすことができました。強化選手の技の紹介では各選手が個性を発揮し、子どもたちに熱いメッセージを送ることができました。多くの参加者があったことで元気をもらいました。」

## 九州ブロック

会場:基山町総合体育館 参加者数/500名

ゲスト選手 男子:高橋和彦、上川大樹、内柴正人  
女子:緒方亜香里、福見友子

テレビに出ていた選手が目の前にいるのは夢のようでした。選手との写真撮影はいつもの倍くらいうれしかったです。(小4)

強い人ばかり出る世界大会で、優勝した選手がトレーニングや技を教えてくださいました。強くて優しくカッコよく見えました。毎日努力していることを知り、僕も真似をしたいと思いました。(小2)

## 中国・四国ブロック

会場:愛媛県武道館 参加者数/400名

ゲスト選手 男子:棟田康幸、西山大希、中井貴裕  
女子:杉本美香、浅見八瑠奈

「原点と本物」をテーマに、子どもたちに大きな夢を抱いてもらおうと棟田選手をナビゲーターにしたトークショーからスタート。選手たちに子どもたち時代から世界で戦うまでを語ってもらい、気持ちを高めてもらってから、技の説明、乱取りを行いました。棟田選手、浅見選手という地元ヒーローはもちろん、杉本選手、中井選手も気さくに子どもたちとふれあい、和気藹々とした1日となりました。

ENTERTAINMENT

CONVENTION

PROMOTION

SPORTS

**knt!**  
近畿日本ツーリスト

東京イベント・コンベンション支店  
<http://www.knt.co.jp/tyoec/>

